

LED防犯灯の包括的維持管理

令和6年2月5日 市民局地域防犯支援課

「防犯灯」とは



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER



住宅地における夜間の**地域住民の**
歩行の安全の確保と、犯罪の防止
を図るため、
公衆の用に供する道路を照明する場所に
横浜市が設置、所有及び維持管理する照明灯

その他、屋外照明には、道路照明灯、商店街灯、公園灯等がある

横浜市防犯灯の現状



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

◆電柱共架型 16万灯

(灯具のみ管理)



◆独立柱（鋼管ポール）型 2万灯

(鋼管ポールごと管理)



サンプル

- ・ 管理番号を記した黄色いプレートで識別
- ・ 地図情報あり

※日常の見守り（故障の発見・連絡、繁茂した草木の除去等）は、自治会町内会にご協力いただいています

横浜市が防犯灯を管理する経緯、及び維持管理の課題



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

経緯

～H20(2008)	自治会町内会が管理
H21(2009)～	L E D化し、本市管理開始
H26(2014)	電柱共架型 E S C O事業（11.6万灯）
H28(2016)	独立柱（鋼管ポール）型 E S C O事業（1.9万灯）
R6(2024) R8(2026)	各 E S C O事業終了

課題

- ①地域の声に迅速に
応える体制
- ②経年劣化した鋼
管ポールの撤去・
建替え
- ③設置時期が大き
く偏る灯具の更新

横浜市LED防犯灯事業における 対話（サウンディング型市場調査）を実施

- ・ 日程 10月18日、23日、24日
- ・ 場所 横浜市庁舎内会議室
- ・ 形態 個別、非公開
- ・ 時間 1参加者 90分程度
- ・ 参加 7者
- ・ 結果 令和6年1月10日公表（市HP）



サウンディング型市場調査で得られた主な意見



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

Q：事業対象について

A：市内一円、全ての防犯灯（電柱共架型、
鋼管ポール型）とするのがよい

Q：事業期間について

A：10年～13年、最長15年とするのがよい



Q：事業手法について

A：・メンテナンス付きリース契約
・業務委託契約
・P F I

<その他参加者からのコメント>

- ・プロポーザルによる総合評価により、事業者を選定してほしい
- ・市民のためになるような事業内容を選定してほしい
- ・単純に契約した方が全体の価格を抑えられる
- ・P F I は困難と考えている

Q：事業内容について

A：維持管理を包括的（※）に実施したほうがよい

※想定する包括的な維持管理

コールセンターによる通報受付、防犯灯維持管理システム運営、灯具更新、不具合修理等、灯具の設置・撤去・交換・移設、鋼管ポールの設置及び撤去 等

◆民間企業様との連携による付加価値の可能性

※市場性、実現性等が必ずしも精査されたものではなく、アイデアとして提案いただいたものです。

例)

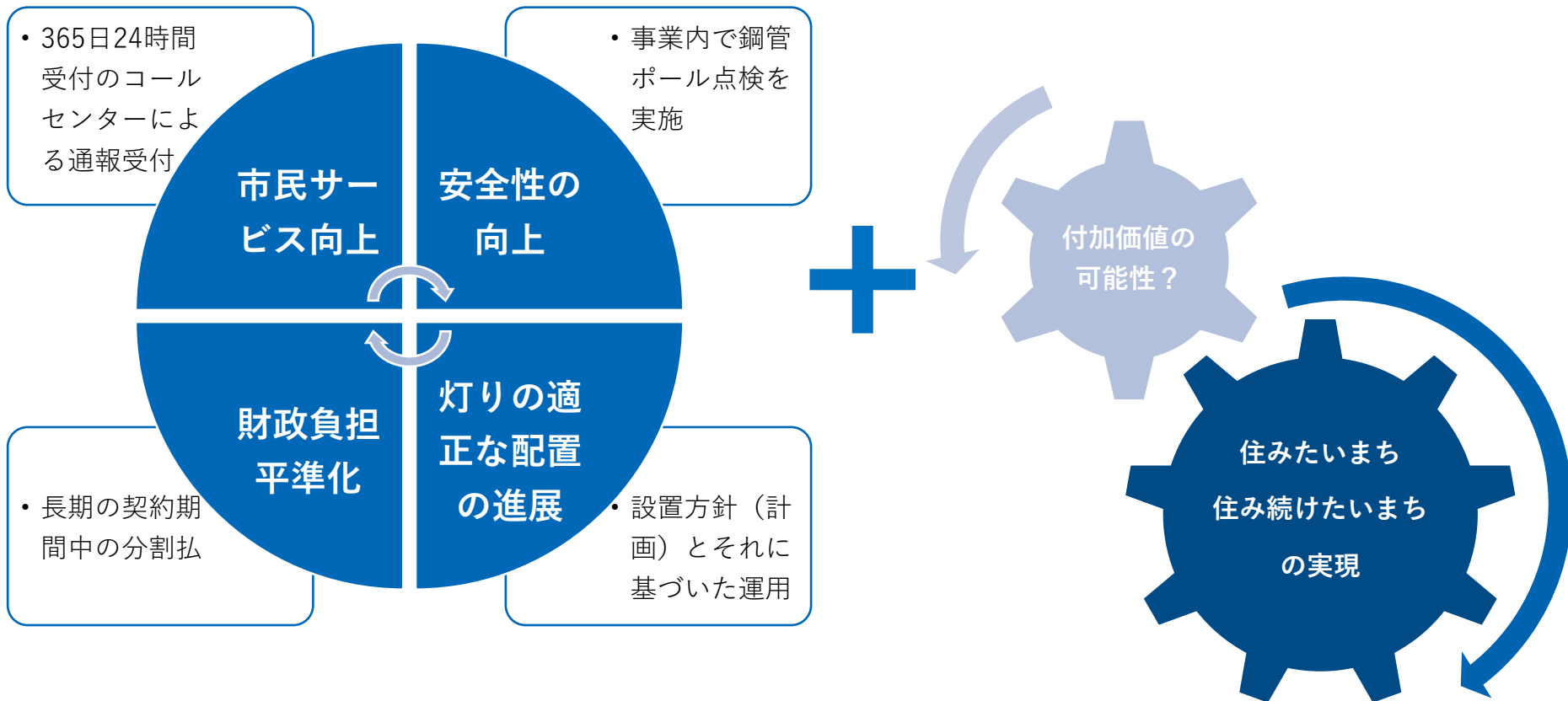
- ・ センサーや通信端末をつけてデータを取得
- ・ 環境測定センサーをつけて情報公開
- ・ 独立柱の一部提供による利用料金収入
- ・ 広告収入

サウンディング型市場調査で見たPPP事業の可能性



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER



『住みたいまち 住み続けたいまち』の実現を目指し、さらに公募条件の整理や市内中小企業の参画についてなど、事業手法等の検討を行います

**令和6年度前半
サウンディング型市場調査
実施予定！**



想定スケジュール



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

R6(2024)年度

- ・ 事業手法検討調査
- ・ サウンディング型市場調査(2回目)

R7(2025)年度～

- ・ 検討結果を踏まえた 発注手続き

R9(2027)年度～

- ・ 事業開始